

e-SYOHSI Command Executor V2.2 コマンド実行エラーの回避について

機能改善のお知らせ

e-SYOHSIへの適用を推奨する 個別PTF[※] をリリースしましたのでご案内します。
内容をご確認のうえ、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

■ 対象製品

e-SYOHSI Command Executor/Standard プログラムパッケージ V2.2

■ 内容

「実行コマンド」のコマンドラインでは、エスケープシーケンス %n は改行コードとして処理します。
エスケープシーケンス %n を値として持つ変数の適用がある場合、コマンドラインに %n が反映され、その改行処理によってコマンド実行エラーが発生することがあります。
当PTFでは、変数値に含まれる %n をエスケープシーケンスとして解釈せずに、文字列として処理するよう改善するものになります。

■ PTF適用を推奨する理由

変数値に %n が含まれたことによるコマンド実行時のエラー発生を未然に防止するため

■ 動作例

【個別PTF適用前】

nで始まるファイル名を &FPE でバッチファイルに引き渡した場合、ファイル名の前で改行となりファイル名が引き渡されず実行エラーとなる例です。

監視フォルダ	:	c:%Spool%test
スプールファイル名	:	n_ABC.pdf

この時、変数 &FPE の値は、c:%Spool%test%n_ABC.pdf となります。

実行コマンドの登録を "c:sample.bat" "&FPE" とした場合、%n で改行となりコマンドラインが2行に別れてエラーが発生します。

"c:sample.bat" "c:%Spool%test	…	バッチファイル内でファイルが見つからないエラー
_ABC.pdf"	…	無効なコマンド実行によるエラー

【個別PTF適用後】

下記のコマンドを実行します。

"c:sample.bat" "c:%Spool%test%n_ABC.pdf"	…	変数値に含まれる %n を値として処理します
--	---	------------------------

■ PTF入手方法

Windowsの「スタートメニュー」から「e-SYOHSI Command Executor」の管理画面を起動し、メニュー「ヘルプ」→「バージョン情報」に記載の累積PTF番号を保守サービス窓口へご連絡ください。
累積PTFに対応した個別PTFをご案内します。

■ PTF適用方法

1. e-SYOHSI Command Executorのサービスを停止
2. インストールフォルダ下の設定ファイル (iniファイル) を任意のフォルダへバックアップ (ファイルコピーの実行)
3. 管理者権限で個別PTFのインストーラーを実行
4. e-SYOHSI Command Executorのサービスを起動

【お問い合わせ先】

保守サービスガイドに記載する「保守サービス窓口」または「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。

※個別PTFは特定機能の改善に限定した修正プログラムです。次回以降の累積PTFにおいて計画的に取り入れます。
現在適用済みの累積PTFレベルに適合した個別PTFを提供します。他の従来機能への影響はありません。